第 14 講　幕藩体制の崩壊
PART1 百姓一揆と打ちこわし

Chapter 1　百姓一揆

目標
江戸時代の庶民闘争の最大要因を知ろう。
百姓一揆の展開について知ろう。

1　庶民闘争の背景

①天災・地変の連続による凶作・飢饉の頻発

A　寛永の飢饉（1641 ～ 43 年）

西日本の干ばつと東日本の長雨・冷害による江戸時代最初の大飢饉。

これに対応して，３代将軍家光が田畑永代売買禁止令（1643 年）を発した。

B　**享保の飢饉**（1732 年）→享保の改革期に起こった三大飢饉の一つ

長雨，冷害，西日本におけるイナゴ・ウンカの大発生が原因で全国一帯に発生。

※幕府・各藩は積極的な“お救い政策”を行ったが，

江戸では初の打ちこわしが起こった。

C　［1　　　　］**の飢饉**（1782 ～ 87 年）→田沼時代に起こった三大飢饉の一つ

長雨，冷害，**浅間山大噴火**（1783 年）などが原因で，

東北・関東を中心とする全国一帯に発生。

※白河藩など一部の藩を除き，対策は不十分。

江戸・大坂など主要都市で**天明の打ちこわし**が起こった（1787 年）。

D　**天保の飢饉**（1833 ～ 39 年）→大御所政治期に起こった三大飢饉の一つ

冷害・洪水などが原因で東北を中心とする全国一帯に発生。

※幕府・各藩の対策は自領の利害を中心に行われたため，

農村では飢饉が慢性化，都市では米価が高騰した。

②その他

幕藩領主の重税，特権的な都市の問屋商人の農村進出，高利貸しの返済請求など。

2　百姓一揆の展開

幕府・諸藩は**百姓一揆**の要求をある程度認めることも多かったが，
武力で鎮圧し指導者を厳罰に処した。
しかし弾圧にもかかわらず一揆は増加し続け，凶作や飢饉の際には各地で同時に多発した。
※江戸時代を通じて3,000件以上発生。

①愁訴・逃散・強訴など（17世紀前半）
　江戸幕府の支配に抵抗する旧武士層（= 土豪）も参加。中世一揆の名残が大きい。
②**代表越訴型一揆**　　　（17世紀後半）
　村々の代表者が百姓全体の要求をまとめ，
　役人を越えて命懸けで領主へ直訴（= 愁訴の一種）。
　命を落とした下総国**佐倉惣五郎**や上野国磔茂左衛門らは「**義民**」として伝説化した。
　※年貢減免・不良代官の罷免などを要求，小規模で件数も少ない。
③**惣百姓一揆**　　　　（17世紀末～）
　あらゆる階層の農民が参加した強訴。広域的で大規模な，百姓一揆の典型。
　傘連判状を作成し，主謀者を隠すことが多い。藩全域で発生するものを全藩一揆，
　複数の幕領と藩領で発生するものを幕藩一揆という場合がある。
　※年貢減免・不良代官の罷免だけでなく，**専売制反対**・新税停止などの要求も登場。
　　幕府・藩の政策に協力する御用商人や村役人の家も襲撃した。

17世紀後半	嘉助騒動	（信濃国，松本藩）
18世紀前半	元文一揆	（陸奥国，磐城平藩）
18世紀半ば	久留米一揆	（筑後国，久留米藩）
18世紀半ば	郡上一揆	（美濃国，郡上藩）
18世紀後半	大原騒動	（飛騨国，幕領）

佐倉惣五郎

まとめ
江戸時代の庶民闘争の最大要因は，経済的困窮だった。
代表越訴型一揆から全村参加型の一揆へと発展した。

Chapter 2　打ちこわし・国訴・村方騒動

目標
国訴のほかの闘争との大きな違いを知ろう。
江戸時代の闘争と近代の闘争との違いを知ろう。

1　多彩な闘争

①伝馬騒動（信濃国・上野国・下野国・武蔵国）

18 世紀後半，街道沿いの農民が伝馬役の一種である助郷役の負担増に反対した広域闘争。

②**渋染一揆**（備前国，岡山藩）

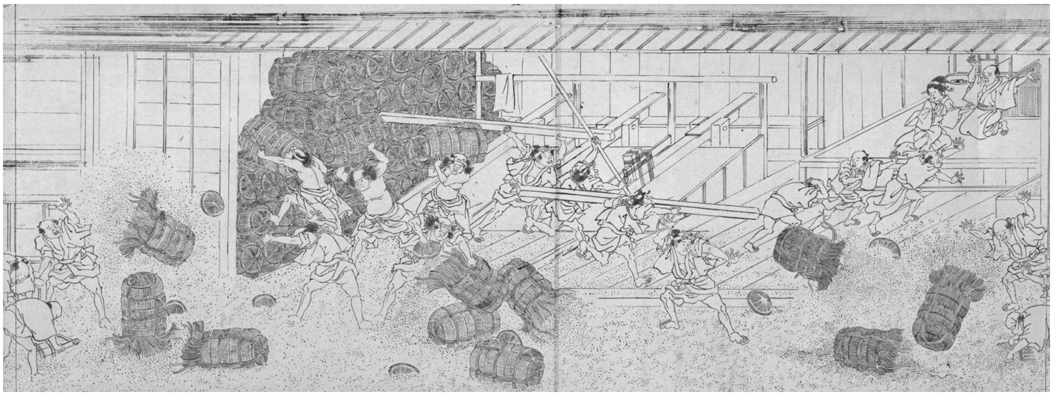
被差別民が，藩の差別強化政策に反対した闘争。

③**世直し一揆**（19 世紀前半～幕末）

貧農層が，小作地・質地の返還〔土地の再分配〕，商人・高利貸しの特権排除，
村役人の入札制度などを要求し，豪商・村役人などを襲撃。
※領主に対する訴えは希薄で，村方騒動と連動する場合が多い。

④〔1　　　　　　　　　　〕（18 世紀前半～ 500 件以上発生）

農村・都市の貧民層が，豪農・豪商・高利貸しなどを襲い，
店舗・家屋などを破壊する行為。百姓一揆は打ちこわしを伴う場合もあるが，
歴史的には主に都市で発生する暴動を指す。



打ちこわし

⑤〔[2]　　　〕　　（18 世紀前半～）

在郷商人の主導により，商品作物の生産者である農民が，

領主・都市問屋商人の木綿・菜種・金肥などの流通独占に反対して起こした**合法的訴訟**。

※畿内で発生した広域請願闘争。

　木綿・菜種の流通問題をめぐる，摂津・河内・和泉の国訴（1823 年～）が有名。

⑥〔[3]　　　　　　〕（18 世紀後半～）

村役人を務める豪農の不正・特権に対する**貧農の村政改革要求闘争**。

村入用の公開や村役人の交代などを求めた。

※領主に直接抵抗する形態はとらないが，小作権をめぐり一揆と連動することも多かった。

2　庶民闘争の特色と意義

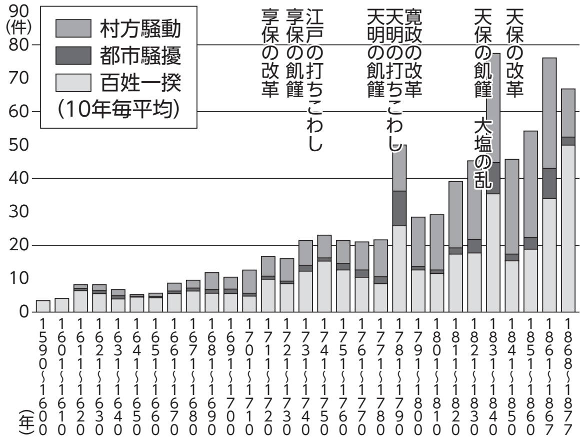
①特色

一時的・分散的で全国的な社会運動として結束できず，

参加者も経済的困窮者に限られた。

②意義

領主支配が後退し，**封建社会の基礎が動揺**。



百姓一揆・村方騒動・打ちこわし

まとめ
国訴は百姓一揆や打ちこわしとは違い，合法的な訴訟だった。
百姓一揆・打ちこわしは一時的・分散的で，
近代の闘争のように継続的・全国的・組織的な運動にはならなかった。

第 14 講 PART 1　確認問題

1 三大飢饉の一つで，大御所政治期に起こったのはどれか。

① 享保の飢饉　② 天明の飢饉
③ 寛永の飢饉　④ 天保の飢饉

2 浅間山大噴火，長雨，冷害などが原因で起こった飢饉はどれか。

① 寛永の飢饉　② 天明の飢饉
③ 天保の飢饉　④ 享保の飢饉

3 下総国佐倉惣五郎らが義民として伝説が残る一揆の形態はどれか。

① 世直し一揆　② 代表越訴型一揆
③ 惣百姓一揆　④ 渋染一揆

4 17 世紀後半に信濃国の松本藩で起こった出来事はどれか。

① 郡上一揆　② 元文一揆
③ 大原騒動　④ 嘉助騒動

5 備前国の岡山藩で起こった代表的な出来事はどれか。

① 渋染一揆　② 代表越訴型一揆
③ 世直し一揆　④ 伝馬騒動

6 貧農層が豪商・村役人などを襲撃した出来事を何というか。

① 伝馬騒動　② 代表越訴型一揆
③ 世直し一揆　④ 渋染一揆

7 1823 年から摂津・河内・和泉で起こったのはどれか。

① 村方騒動　② 渋染一揆
③ 国訴　④ 伝馬騒動

8 小作権をめぐって一揆と連動することも多かったのはどれか。

① 国訴　② 村方騒動
③ 伝馬騒動　④ 渋染一揆

第14講 PART 1　確認問題 解答

1 解答：④　①の**享保の飢饉**は三大飢饉の一つで享保の改革期に起こった。②の**天明の飢饉**は三大飢饉の一つで田沼時代に起こった。

2 解答：②　①の寛永の飢饉は，西日本の干ばつと東日本の長雨・冷害による江戸時代最初の大飢饉。③の天保の飢饉は冷害・洪水など，④の享保の飢饉は長雨，冷害，西日本におけるイナゴ・ウンカの大発生などを原因とする。

3 解答：②　③の**惣百姓一揆**は，あらゆる階層の農民が参加した強訴。

4 解答：④　①の郡上一揆は 18 世紀半ばに美濃国の郡上藩で起こった。②の元文一揆は 18 世紀前半に陸奥国の磐城平藩で起こった。③の大原騒動は幕領の飛彈国で起こった。

5 解答：①　**渋染一揆**は，被差別民が藩の差別強化政策に反対して起こした闘争。

6 解答：③　**世直し一揆**では，貧農層が小作地・質地の返還〔土地の再分配〕，商人・高利貸しの特権排除，村役人の入札制度などを要求した。

7 解答：③　摂津・河内・和泉の**国訴**は，木綿・菜種の流通問題をめぐって起こった。

8 解答：②　**村方騒動**は，村役人を務める豪農の不正・特権に対する貧農の村政改革要求闘争。